

令和2年度 教育委員会 第17回定例会 議案

1 日 時 令和3年2月17日（水） 午後1時30分

2 場 所 教育委員会議室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 報告事項

(3) 閉 会

第17回定例会 報告事項

番号	項 目	Page
1	令和3年度幼児教育推進室事業	1
2	学校裁量枠の改善（最終案）	3
3	「新しい県立図書館」アイデアコンペの審査結果	9

令和 3 年度幼児教育推進室事業

(義務教育課 幼児教育推進室)

1 本県の幼児教育にかかわる現状と課題

(1) 幼児教育施設数、園児数 (令和 2 年 4 月 1 日現在・全て政令市を含む)

種別	幼稚園		幼保連携型 認定こども園		保育所		計		
	国公立	私立	公立	私立	公立	私立	公立	私立	
施設数	186 (18.3%)	161 (15.9%)	79 (7.8%)	182 (18.0%)	131 (12.9%)	275 (27.1%)	396	618	
								1,014 (100%)	
園児数	全体	10,694	23,798	7,390	26,458	11,777	26,221	29,861	76,477
	5歳児	4,071 (14.4%)	8,165 (29.0%)	1,883 (6.7%)	6,301 (22.4%)	2,606 (9.2%)	5,145 (18.3%)	8,560	19,611
								28,171 (100%)	

※ これら以外の施設として、地域型保育事業が 246 施設 (利用者数 3,642 人)、認可外保育施設が 350 施設 (届出定員 5,393 人) ある。

(2) 市町における設置状況

種別	幼稚園		幼保連携型 認定こども園		保育所	
	公立	私立	公立	私立	公立	私立
設置市町数	25	19	16	18	24	31

(3) 課題

- 全ての園種・施設種を含めた保育者の専門性向上
- 市町幼児教育主管課における幼児教育推進体制の強化

2 静岡県幼児教育センターの役割

- ◎「深める」 専門的な課題に対応した研修開催や資料の作成と普及
- ◎「つなぐ」 園・関係機関・市町同士の連携促進
- ◎「広げる」 研究成果や、市町・園・校等における好事例の発信

3 令和 3 年度事業計画

幼児教育関係団体・市町担当課・庁内関係課の代表者及び学識経験者からなる「静岡県就学前教育推進協議会」において事業の承認や評価を得ながら、以下の事業を実施する。

(1) 「深める」事業

① 研修開催

※印は新規事業

	研修名	実施回数等	備考
1	初任者研修 (法定研修)	園外 6 日	公立幼稚園・こども園の初任者が対象

2	幼稚園教育理解推進都道府県協議会	2回	文部科学省との共催 公立幼稚園・こども園は 悉皆
3	希望研修 「インクルーシブ保育」「子育ての協働デザイン」「幼小接続期の教育・保育」「園マネジメント」	5回	
4	『保育プロセスの質リフレクションシート』活用支援研修	市町等の要請による	(R2実績9市5町)
5	幼稚園教諭二種免許状の上進講習 ※	10日	

② 資料提供

	資料名	仕様等	備考
1	幼小接続モデルカリキュラム	A 4, 63 頁	
2	外国人幼児・保護者のための手引き	4か国語 A 4, 4 頁	
3	保育プロセスの質リフレクションシート	A 4, 4 頁	
4	インクルーシブ保育資料 ※	A 4, 12 頁	一部 動画配信
5	乳幼児保育資料 ※	A 4, 5 頁	主に地域型保育事業、認可外保育施設向け
6	感染症対策資料 ※	A 4, 5 頁	
7	幼小接続モデルカリキュラム追加資料 ※	A 4, 4 頁	

(2) 「つなぐ」事業

	事業名	実施回数等	備考
1	市町担当者連絡会	1回	全市町悉皆
2	市町幼児教育アドバイザー研修	2回	全市町悉皆
3	感染症対策指導支援	市町等の要請による	(R2実績10市町)
4	認可外保育施設訪問支援	施設の要請による	(R2実績12施設)
5	初任者研修運営協議会	2回	

(3) 「広げる」事業

	事業名	頻度	備考
1	就学前教育情報発信サイト運営	随時更新	(R2閲覧数3,924)
2	幼児教育センターだより「わっ!ぴよん通信」作成	隔月発行	全園・小学校・担当課への配布、HPでの配信

(4) 「つなぐ」&「広げる」事業

『幼児教育 GOOD DESIGN AWARD』の選定と公表 ※

ア：全ての園種・施設種を含めた体制作り、イ：幼小接続の推進、ウ：園務における ICT 活用、エ：保育者のキャリアに応じた研修体系、オ：感染症対策など喫緊の課題への対応、の5項目において先進的な取組をしている市町を選定し、その内容を広く発信することにより県内全域への好事例の普及を図る。

学校裁量枠の改善（最終案）

(高校教育課指導第 1・2 班)

1 概要

魅力ある学校づくりを一層推進するため、学校裁量枠の改善に取り組む。改善に当たっては、令和 4 年度と 5 年度に取組を分けて、段階的な改善を行う。

2 改善の視点

現行の学校裁量枠に関して次の観点について改善を図る。

- ①「文化的・体育的活動」における透明性の担保及び特定の競技への偏りの是正
- ②中学生等の多様な資質、能力を評価するための「重視する観点」の新設及び活用の促進
- ③中学生等が目的意識を持ち、安心して志願できる「中学校における学習」の改善

3 令和 4 年度入学者選抜（現中学 2 年生対象）に向けての改善（案）（別表参照）

(1) 重視する観点（「探究活動」）の新設

- ・中学校の総合的な探究の時間等で学習した研究実績等を評価し、選抜する。
- ・探究活動に意欲を持つ志願者を入学させることができる。

(2) 重視する観点（「特別活動等」「学科への適性」）の改善

ア 「特別活動等」の活用促進

- ・中学校時の生徒会活動や学校行事、ボランティア活動等の活動実績等を評価し、選抜する。

イ 「学科への適性」の活用促進

- ・当該学科に関する実績、適性、活動意欲等を評価し、選抜する。

(3) 重視する観点（「中学校における学習」）の改善

ア 選抜対象の変更

- ・選抜対象を「全員対象」から「希望者対象」とする。
- ・中学生が入学後の明確な目標を持って志願できるようにする。

イ 合格者の割合の上限の変更

- ・「評定合計」の上位から各学校が定めた割合(上限 50%)を合格者とし、同点者を含んで合格者にできるようにする。

ウ 学校裁量による選抜順序の設定

- ・選抜する順序（選抜段階）については実施校において定めることができるようにする（「文化的・体育的活動」を設定する場合でも「中学校における学習」を I、

「文化的・体育的活動」をⅡとすることができる。。

エ 他の重視する観点の併願

- ・「中学校における学習」に限り、他の重視する観点（「文化的・体育的活動」「探究活動」「特別活動等」「学科への適性」「その他」）と併願できる。

(4) 選抜方法の多様化

- ・生徒によるプレゼンテーションの導入（希望する高校において実施）

(5) 改善の成果指標

指標名	現状値	目標値
学校裁量枠の見直しを実施した学校数	—	100%
「探究活動」、「特別活動等」を新設した学校数	—	15校
「学科への適性」を設定した学校数	16校	28校

<参考>令和3年度入学者選抜 学校裁量枠（市立高等学校は除く、全員対象も含む。）

重視する観点	中学校における学習	文化的・体育的活動	特別活動等	学科への適性	その他
実施校・学科	68校 117学科	78校 120学科	なし	16校 19学科	なし

4 令和5年度入学者選抜に向けての改善(案)（現中学1年生対象）

(1) 「アドミッション・ポリシー」による裁量枠の実施

- ・現在、中教審の分科会で審議している、国の高校教育改革に基づき、全県立高校が「スクール・ミッション(各校の存在意義・社会的役割等)」を設定する。
- ・各校は「スクール・ミッション」のうち、「アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）」に基づいた「重視する観点」を設定する。

(2) 重視する観点（「文化的・体育的活動」）の改善

ア 志願条件の明確化

- ・具体的な大会の実績を志願条件とし、中学生等に提示する資料等に明記する。
- ・審査基準が明確になり志願できる者が限定されることで、特定の競技への偏りの是正につながる。

イ 志願理由書等の提出

- ・志願者は志願条件と入学後の活動意欲を記載する。
- ・明確な目的を持って入学する意思を確認することができる。

(3) 重視する観点（「主体的活動」）の新設

- ・中学校の学校行事や部活動等で主体的に活動した状況等を評価し、選抜する（希望する高校での実施を想定）。
- ・中学校時の生徒の幅広い活動状況を評価し、高校入学後の学校活性化に貢献で

きる生徒を確保できる。

- ・従来の「文化的・体育的活動」の主に活動状況を評価して入学してきた生徒を対象とすることも可能になる。

(4) 広報の充実

- ・県高校教育課のホームページ等により、県立高校の魅力化を中学生やその保護者に広く周知する。

【別表】 対照表

改善目的	重視する観点	改善案	現行
②	探究活動 【新設】	観 点：中学校の総合的探究の時間等により学習した研究実績等 対象校：探究活動等に取り組む高校	—
	特別活動等 【活用促進】	観 点：生徒会活動や学校行事、ボランティア活動等の活動実績等 対象校：希望する全ての高校	
	学科への適性 【活用促進】	観 点：特色となっている分野に対する実績、適性、活動意欲等 対象校：専門学科や総合学科をはじめ特色ある教育に取り組む高校	
③	中学校における学習	選抜対象：希望者 合格者：「評定合計」の上位から各学校が定めた割合(上限50% (同点者を含む。)) 選抜順：裁量枠の最初の選抜も可能 (学校裁量)	選抜対象：志願者全員 合格者：「評定合計」の上位から各学校が定めた割合(上限50% (同点者は含まない。)) 選抜順：「文化的・体育的活動」を設定している場合はその後に選抜

【参考】

学校裁量枠ワーキンググループ検討結果の概要

(高校教育課指導第1・2班)

1 要旨

静岡県公立高等学校入学者選抜における学校裁量枠は、平成20年度に始まり、令和3年度入学者選抜が14回目の実施となる。この間、入学者選抜における評価尺度の多様化、高等学校における様々な教育活動の活性化等に資するものとして概ね良好な評価を得てきた。

一方、文化的・体育的活動においては、特定の競技への偏りや、男女の合格者人数に差があるため、検証が必要との意見が出ている。

このことを踏まえ、改めて中学校及び高等学校の意向等を調査し、学校裁量枠ワーキンググループ（以下、WG）を立ち上げ、成果と課題等を把握し、別紙のとおり改善案を作成した。

2 アンケート調査結果

学校裁量枠アンケート調査結果を定例会にて報告（令和2年7月15日）

[主な報告内容]

- ・高校学校の約75%、中学校の約80%は、裁量枠は継続すべきとしており、制度としての定着は窺える。しかし、高等学校の約30%、中学校の約60%は改善が必要との意見である。
- ・具体的な改善の要望には、選抜の透明性や基準の客観性を高めるべきや指導者の継続的確保、施設面の改善などの意見が見られる。

3 学校裁量枠WGでの協議経過

(1) 第1回学校裁量枠ワーキンググループ（令和2年7月29日）

[主な協議内容]

- ・現状及び課題、アンケート調査結果より見えたこと。
学校における学校裁量枠の現状と今後の協議事項についての検討
- ・学校経営改革研究特別委員会の提言について
提言についての補足説明

(2) 第2回学校裁量枠ワーキンググループ（令和2年8月24日）

[主な協議内容]

- ・文化的・体育的活動以外の観点について
令和2年度入学者選抜試験の希望裁量枠の充足状況について
令和元年度静岡県高等学校・中学校 運動部活動状況について
- ・学校経営改革研究特別委員会の提言について
「中学校における学習」の重視など

(3) 第3回学校裁量枠ワーキンググループ（令和2年9月18日）

[主な協議内容]

- ・令和4年度入学者選抜試験における学校裁量枠の改善案の提示
「選抜基準の明確化」「重視する観点の新設等」「選抜方法の多様化」「中学校における学習の重視」について協議
- ・令和5年度入学者選抜に向けての改善について

(4) 第4回学校裁量枠ワーキンググループ（令和2年10月12日）

[主な協議内容]

- ・令和4年度入学者選抜試験における学校裁量枠の改善案の提示
「選抜基準の明確化」「重視する観点の新設等」「選抜方法の多様化」について確認
「中学校における学習の重視」について協議

(5) 第5回学校裁量枠ワーキンググループ（令和3年1月20日）

[主な協議内容]

- ・教育委員協議会、正副会長会、理事会からの意見の反映
「文化的・体育的活動」における「活動状況」の削除
「重視する観点」において、「探究活動」「主体的活動」の新設
「重視する観点」において、「特別活動等」「学科への適性」の活用促進
「中学校における学習」の改善
改善の成果指標について

(6) 第6回学校裁量枠ワーキンググループ（令和3年2月9日）

[主な協議内容]

- ・理事会からの意見の反映
「文化的・体育的活動」における「具体的な大会の実績を志願条件」の延期
「重視する観点」において、「主体的活動」の新設の延期
「中学校における学習」の改善
改善の成果指標について

4 これまでの経緯と今後のスケジュールについて

日時	内容
12月2日（水）	教育委員協議会への中間報告
1月8日（金）	正副会長会への中間報告
1月14日（木）	校長協会への説明
1月20日（水）	第5回WGの開催
1月25日（月）	正副会長会への報告
1月28日（木）	四役報告（最終案報告）
2月3日（水）	理事会への報告
2月9日（火）	第6回WGの開催
2月10日（水）	四役報告（修正最終案報告）
2月17日（水）	教育委員会定例会（最終案報告）

「新しい県立図書館」アイデアコンペの審査結果

(社会教育課)

(要旨)

新しい県立中央図書館について、アイデアコンペを実施し、幅広くアイデアや意見を募集したところ、県内外から200件を超える多くの応募があり、審査の結果、優秀作品を決定した。

1 応募状況 (募集期間 12月1日～1月15日)

応募総数 215件

(大学程度の部 8件、高校程度の部 137件、一般の部 70件)

2 審査

2月1日 第2回審査委員会を開催し、優秀作品を決定した。

<審査委員>

氏名	分野	備考
糸賀 雅児	図書館情報学	慶應義塾大学名誉教授
岡本 真	民間 (図書館/ICT)	アカデミック・リソース・ガイド (株) 代表取締役
寒竹 伸一	建築	静岡文化芸術大学 特任教授 副学長
草谷 桂子	民間 (図書館)	トモエ文庫主宰 静岡図書館友の会
平野 雅彦	情報意匠学	静岡大学 人文社会科学部 客員教授

3 審査結果

部門	大学程度の部	高校程度の部	一般の部
優秀作品数	2 (うち審査委員会特別賞1点)	20 (うち審査委員会特別賞1点)	10 (うちふじのくに賞3点)
計	32		

4 優秀作品の発表、表彰等

(1) 優秀作品の発表

- ・2月17日審査結果公表 報道提供、HP等で優秀作品を公開

(2) 表彰

- ・優秀作品応募者に図書カード2万円を贈呈
(審査委員会特別賞には2万円、ふじのくに賞には1万円を追加で贈呈)
- ・表彰式は新型コロナウイルス感染症対策のため執り行わない

(3) 優秀作品等の公開、展示

- ・応募全作品をHPに掲載 (本人の意向確認がとれたもの)
- ・3月2日 (火) から、県立中央図書館において展示会を開催

5 優秀作品の活用等

アイデアについては、今後の図書館整備、運営の参考としていく。

【優秀作品一覧】

(別紙)

○大学程度の部 (2 作品)

	作品タイトル	内容	学校名	応募者・チーム名	備考
1	本が、図書館が社会の中心になる、全ての人々に親しまれる図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・VR技術を用いた「本体験室」の設置 ・廃車になった新幹線・高級列車の設置 ・広告付き電子書籍の導入 	静岡大学	佐藤大樹	
2	距離を問わずに利用できるランドマーク図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・富士山の形をした図書館 ・ストリートビューのような機能を活用した図書館 ・泊まれる図書館 	静岡文化芸術大学	林ゼミ	審査委員会特別賞

○高校程度の部 (20 作品)

	作品タイトル	内容	学校名	応募者・チーム名	備考
1	My own space	「ユーモア」と「アート」を利用したソーシャルディスタンスを生み出す仕組み	静岡市立清水桜が丘高校	元村妃奈乃	
2	ウィズコロナのその先へ～新時代の暮らしを支える県立図書館～	<ul style="list-style-type: none"> ・資料ポジショニングシステムの導入 ・オンライン図書館 ・通信制高校との連携 	倉橋学園キラリ高校	松永和子	
3	学びを止めない～新県立図書館～	<ul style="list-style-type: none"> ・学生にとっての「学びの場」 ・親子連れの利用に適した本のふれあい場所 	静岡雙葉高校	大脇美怜	
4	クリエイターズ・ルーム	クリエイターのための空間づくりの提案	浜松城北工業高校	放課後図書館同盟	
5	僕の理想図書館－自然と万人とお洒落と抱き合って－	図書館において自然を体験できる提案	浜松北高校	中矢的季	
6	中高生学習・進路サポート	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館に教科書設置 ・公式LINE ・高校生に向けた大学のプレ授業 	藤枝西高校	鈴木結菜	
7	自然図書館	生物園と融合した図書館	浜松工業高校	谷口健心	
8	街をてらす図書館	24 時間開放の図書館。天体観測ができる場。	浜松工業高校	牧野楓	
9	フェーズフリーな図書館	日常と非日常を体感できる図書館	浜松工業高校	伊藤滉太	
10	伝統を伝える図書館	図書館で伝統工芸を体験できる場を提案	浜松工業高校	栗本紗弥	
11	本と出会う～冒険の図書館～	洞窟形式、蟻の巣形式にして新しい本で会う図書館の提案	浜松工業高校	サバレタサイタロ	
12	Drone Library	蔵書検索にドローンを利用	浜松工業高校	村松愛咲	
13	フリースタイル	色々な体制で読書できる環境(アスレチックネット、ビーズクッション、ハンモック等)	浜松工業高校	相澤亜美	
14	巡り廻る図書館	回転ずしのように図書が回る図書館	浜松工業高校	石岡怜美奈	
15	回転図書館	回転ずしのような図書館	浜松工業高校	大矢光夏	
16	カメレオン図書館	3つの建物で館ごとにカメレオンのようにイメージが変わる。茅野市民館を参考にしている。	浜松工業高校	杉村碧月	

	作品タイトル	内容	学校名	応募者・チーム名	備考
17	回転する図書館	回転ずしのような図書館	文徳学園文徳高校	坂本新	審査委員会特別賞
18	出会い、交わる、新しい世界への旅。	<ul style="list-style-type: none"> ・県民自作の図書が並ぶ。 ・地元アーティストと学生のコラボ ・ドレスコードがある図書館 	富士見高校	竹内七海	
19	～新たな知識の波を切り開く～	<ul style="list-style-type: none"> ・立面図、平面図による外観・内部イメージの提案 ・学校図書館との連携 	静岡農業高校	塩澤・三浦	
20	夢の図書館～人と本をつなぐ場所～	<ul style="list-style-type: none"> ・外観は本をイメージ ・ディズニーのような世界観 ・用がなくても来なくなる図書館の提案 	富岳館高校	小林小優季	

○一般の部（10 作品）

	作品タイトル	内容	市町村	応募者・チーム名	備考
1	旅のお供に本を読む～リニアもいいけど「ひかり・こだま」もね	東海道新幹線内での図書館利用の提案	浜松市	吉岡誠仁	ふじのくに賞
2	新たな文化創造の場をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画における第6章の具体的提案 ・まちライブラリー ・バーチャル図書館 ・感染症対策 	静岡市	市川博章	
3	新しくできた県立図書館に行ってみた～私のブログから～	ストーリータッチ形式による新しい図書館(館内サービス)の提案	掛川市	矢野貴裕	
4	図書館を使い倒すためにー巨人の肩の上に立つー	<ul style="list-style-type: none"> ・書架のテーマ配架と書籍販売 ・返却棚の展示 ・テーマ展示と県内企業製品の販売 ・ATM設置 	静岡市	堀田弘通	ふじのくに賞
5	目指せ！サブカルの聖地～静岡県立図書館はあなたの推し活を応援します～	サブカルに特化した選書	静岡市	長谷川夏織	
6	温庫知深～多世代との交流を育む図書館～	<ul style="list-style-type: none"> ・閲覧室に足湯 ・速乾性消毒液が噴霧できる書棚 ・ドローンでの図書運搬 	島田市	Team 阿知ヶ谷	
7	静岡県公共／創発情報横断デジタルアーカイブ	静岡県のあらゆるデータを保存・保管・更新・提供する。	島田市	コードフォー掛川	
8	クリエイターズ・ハブ	静岡県内のクリエイターと必要とする団体をつなぐ機能	島田市	コードフォー掛川	ふじのくに賞
9	情報×文化×図書館＝新しい可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・「らいぶらりー公園」、カルチャースペースの設置 ・オンラインルーム、一時保育室の設置 ・オンラインコンシェルジュ、夜活支援 	藤枝市	矢野光華	
10	書棚に、読点を、	新時代の書棚の提案	愛知県名古屋 市	森拓実	